



『環境のまち しかおい』

地域課題解決と脱炭素の同時解決を目指して



脱炭素先行地域
北海道 鹿追町（第1回選定）



鹿追町企画課 林大介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



とかち鹿追ジオパーク



自己紹介

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	林 大介		所属	鹿追町役場 企画課	
専門領域	・ 行動変容 ・ 自営線マイクログリッド（太陽光、地中熱、EMS） ・ 脱炭素先行地域に係る事務 ・ 新電力の検討	居住地域／活動地域	北海道鹿追町/国内		
		派遣形式	単発型		
略歴	2017年-2018年 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 国民生活対策室 派遣（クールビズ、ウォームビズ等担当） 2019年-2020年 企画課 行財政改革推進係長（総合計画・総合戦略の策定及び自営線マイクログリッド事業等担当） 2021年-現在 企画課 企画係ICT・エネルギー担当係長（行動変容、脱炭素先行地域、重点対策加速化事業、住まいのZC化推進事業、計画策定等担当）				
過去の地方公共団体との関わり	【近年担当した環境省補助事業一覧】 ・ 地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業（自営線マイクログリッド） ・ 脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業（脱炭素公共交通施策FS） ・ 再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能なレジリエントな地域社会実現支援事業（計画策定） ・ 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（地域脱炭素先行地域づくり_第1回選定）				
一言	私自身、本当にたまたま脱炭素施策に携わってきた普通の自治体職員ですので、専門的・技術的な深い知見はありませんが、これまでの経験の「反省と改善策」そして、一見華々しい事業でも必ずある「課題」など、そういったことを包み隠さず共有させて頂きながら、共に脱炭素で課題解決策を考えられるような機会にさせて頂ければと思っています。どうぞお気軽にご連絡下さい。				
参考URL	■鹿追町ホームページ（脱炭素施策関係） https://www.town.shikaoi.lg.jp/kurashi/life/ ■SuSPCA持続コン協会報22.10 No.90（69p 脱炭素先行地域事業内容執筆） http://www.suspc.or.jp/pdf/kaihou_no090.pdf				

鹿追町は、令和3年3月12日に開催された鹿追町議会定例会において、十勝で初めて、「バイオガスプラントを核とした鹿追型ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言

令和3年3月12日 第1回鹿追町議会定例会



めぐる農業の確立をめざす旅

鹿追町環境保全センター

酪農の盛んな鹿追では乳牛のふん尿を適正に処理するだけでなく、生ゴミや下水汚泥も有効活用し、観光客や環境にも優しい「バイオガスプラントを中心とした地域循環型のまちづくり」に取り組んでいます。

■受賞実績

- ・3R推進功労者表等表彰 内閣総理大臣賞受賞
- ・土木学会環境賞

バイオガス プラントを 中心としたまちづくり



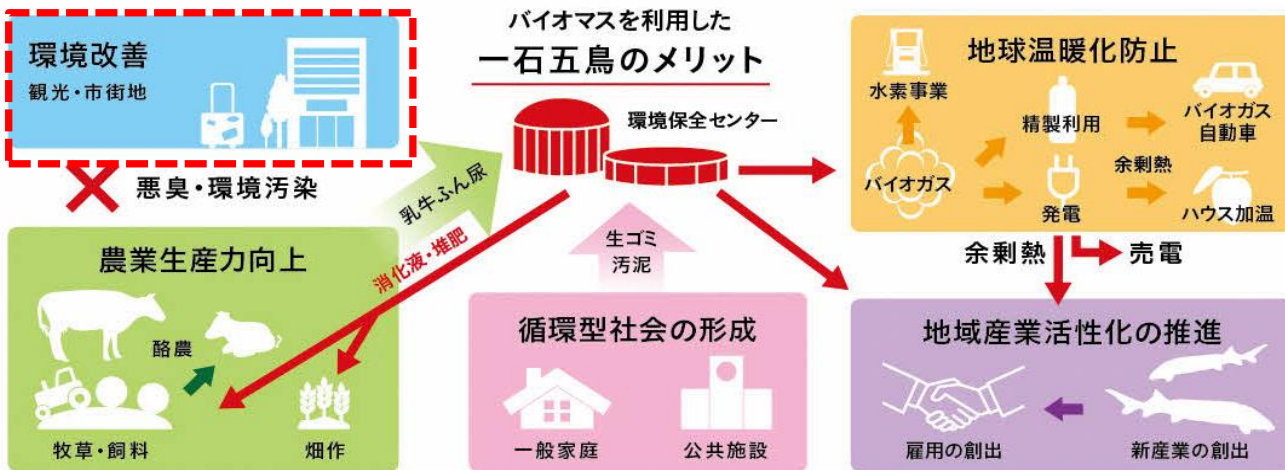
① 中鹿追バイオガスプラント

鹿追町 環境保全 センターとは？

基幹産業である農業と観光の共存共栄を目指し、家畜排せつ物や生ゴミ、下水汚泥の適切な処理、バイオマスの有効活用を行う施設。バイオガスプラント・堆肥化プラント・コンポスト化プラントの3施設を核として、地域資源循環型社会を推進しています。



鹿追町はバイオマス※¹で町と人・環境にやさしい 地域循環型のまちづくりをめざしています



めぐる農業とは？

バイオマスを有効活用した安全な農産物の生産と環境負荷の少ない循環型農業のこと。

バイオマス資源の活用先



町内個別畜産農家



チョウザメ飼育施設



マンゴー栽培



水耕栽培 (瓜幕)



育苗用ハウスでの保温

バイオガスの精製圧縮



“国内初”家畜ふん尿を活用した水素事業

2015年から環境省実証事業が本町で開始され、FCEVやFCフォークリフトの運用等の水素供給により、**水素を安定して「つくる・はこぶ・つかう」**ことを証明。実証の成功を踏まえ、**2022年より町と民間企業が連携し水素サプライ事業を商用化。**

現時点、町内で**【22台】**導入
(鹿追町10台・民間事業者8台・個人4台)

水素燃料電池車のみ
「中古車」を対象とした町独自補助(2022年10月~)

家畜ふん尿由来水素を活用した「クルマ社会」での面的な脱炭素化

道内唯一の定置式水素ステーション

■受賞実績

- ・自治体水素アワード
- ・第13回EST交通環境大賞 大賞

鹿追町脱炭素自動車
導入普及促進補助金

補助金を利用して
環境にやさしい車に乗り換えよう！

FCV

水素燃料電池自動車

- 新車：最大**100**万円
* CEV 補助金の 1/2 以内
- 中古車：最大**50**万円
* 車両本体価格（税別）の 20% 以内



PHV

プラグイン
ハイブリッド自動車

- 新車：最大**100**万円
* CEV 補助金の 1/2 以内
- 中古車：対象外



EV

電気自動車

- 新車：最大**100**万円
* CEV 補助金の 1/2 以内
- 中古車：対象外



詳細は裏面をご覧ください

トヨタ自動車が鹿追町内にて 【FCEV小型トラック・コースターの走行試験を実施】

2023.0926



しかおい自営線ネットワーク（自営線マイクログリッド）

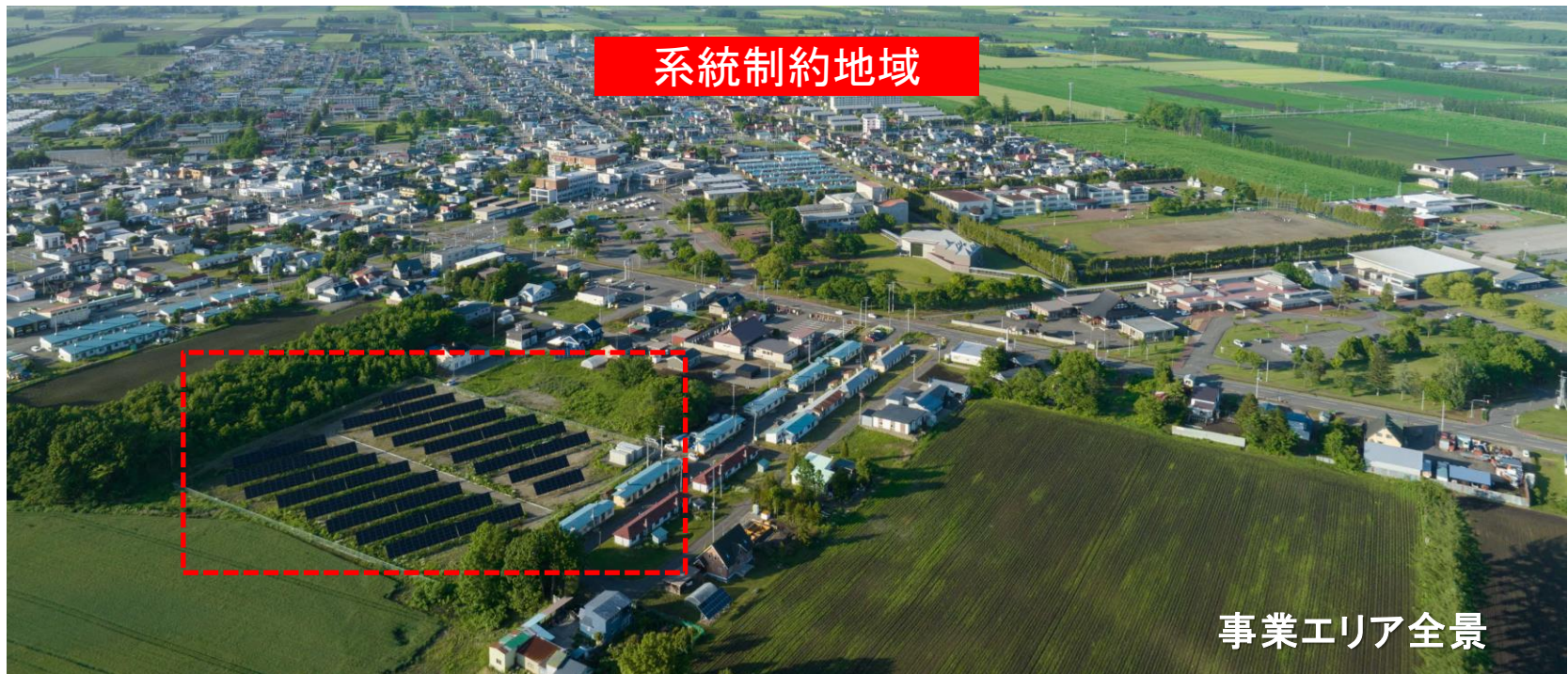
再エネの最大導入、最大活用を目的とした熱と電気のネットワーク

背景

- 「環境のまちしかおい」として、エネルギーの地産地消による地球温暖化対策を進めたい。
- 避難所指定されている公共施設に災害時でも電気を供給し、業務が継続できるようにしたい。
- FIT売電期間の終了するバイオガスプラントのエネルギーの受け皿を構築したい。
- 長年活用が出来なかった、遊休地(旧墓地)の有効活用を図りたい。

目的

町上位計画に基づくCO2排出量削減と行政運営に係るBCP機能向上を目的に、公共施設群が集中するエリアを対象として、電気・熱に係る自立・分散型エネルギーシステムを導入すると共に、一括受電により関係させ、再エネの最大活用を推進する。



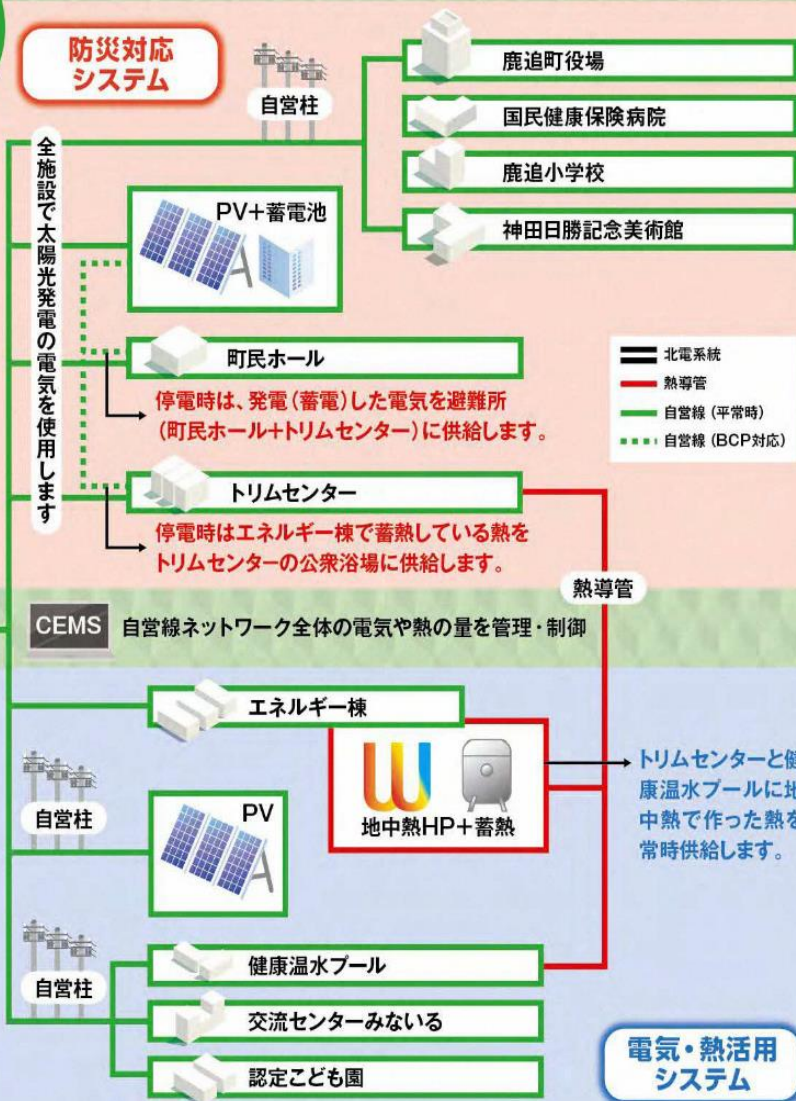
- ✓ 太陽光発電設備（440kW）の設置による町内の未利用遊休地の有効活用
- ✓ 独自の配電線（自営線）の設置による公共施設群（9施設）の電力供給ネットワークを構築

個別施設では難しい中規模太陽光発電の需要を創出（再エネ導入の最大化）し、
系統制約のある地域における再生可能エネルギーの導入の道筋をつけられた

事業の内容

自営線ネットワーク

防災対応システム

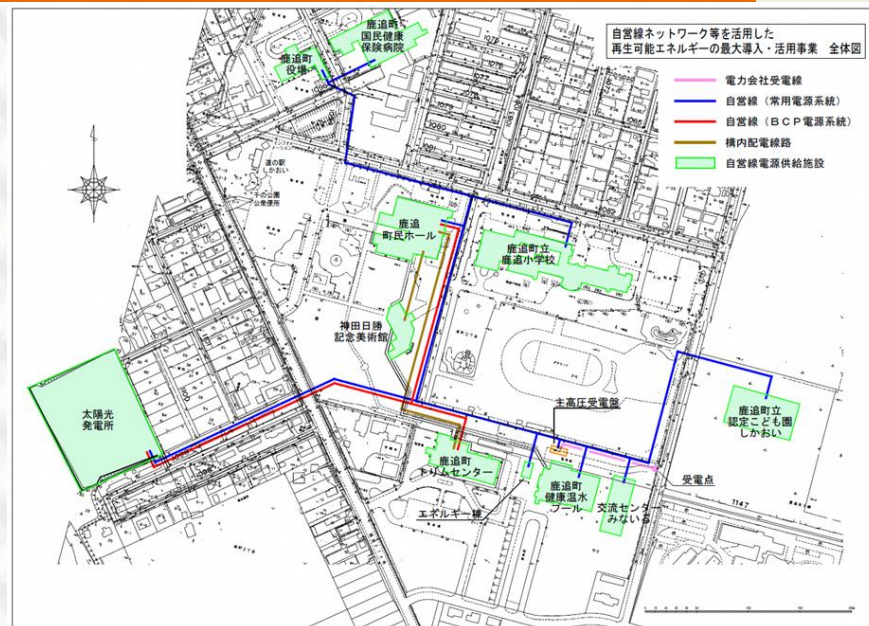


逆潮流なし

北電系統



受電設備



■受賞実績

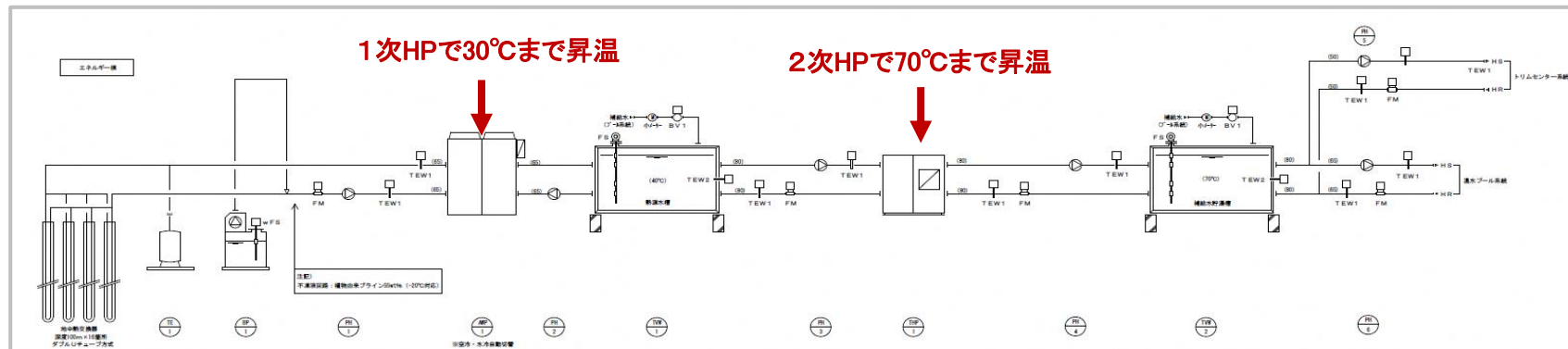
令和5年度 2023年度ソーラーウィーク大賞 特別賞
 〃 第13回EST交通環境大賞 環境大臣賞
 令和4年度 新エネ大賞 財団会長賞
 令和3年度 北国の省エネ・新エネ大賞 大賞

中低温熱源ネットワーク構築による熱ロス低減とCOPの向上によるコスト低減

- ✓ 高効率地中熱HPを効率よく活用させる為、二段階昇温方式を採用
- ✓ 1次・2次HPは直列に配置し、1次HPには空水冷ヒートポンプを採用し、地中温度と外気温度を観測し、システム効率が高くなる熱源を採用



一般的なHPのCOP2.1に比べて
高効率化（平均COP3.7）を可能とした



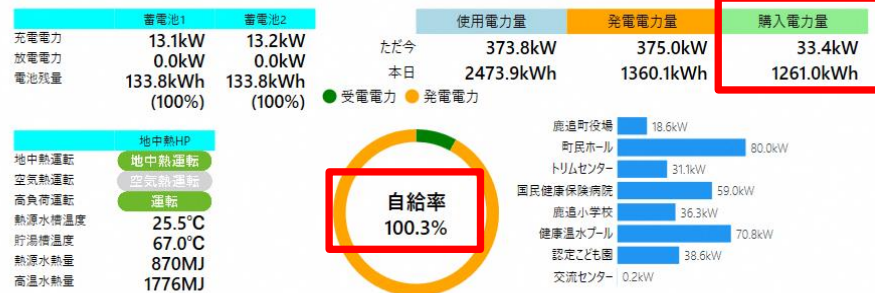
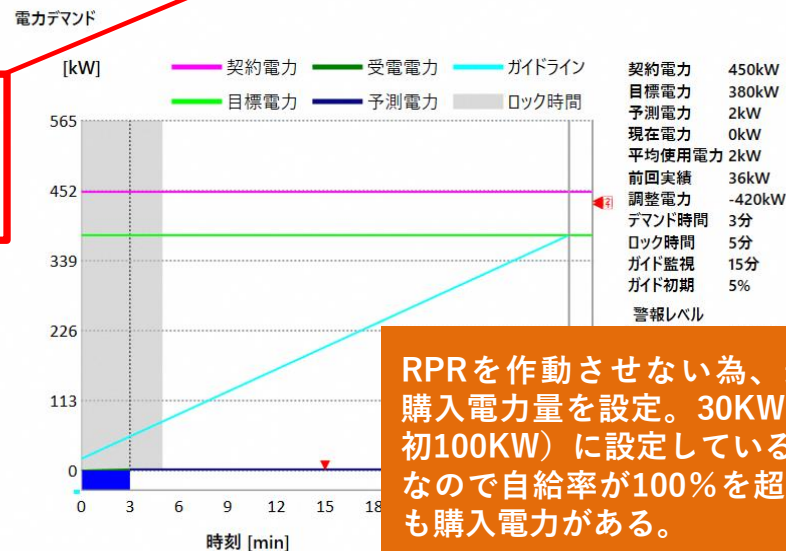
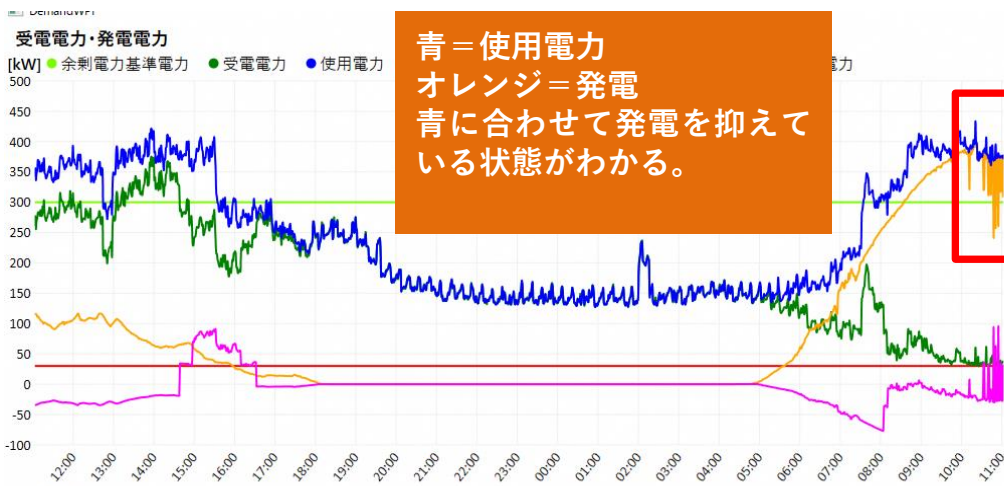
太陽光発電の余剰電力をHP稼働に利用し蓄熱することで再エネの利用最大化

- ✓ 太陽光発電の余剰電力は蓄電池に蓄えられるが、更に余剰が発生する場合には熱源水槽の設定温度を30℃から40℃に変更することで1次HPを強制稼働させる仕組みを構築



太陽光発電の発電機会の最大化に寄与できた

一方で、
それでも余剰電力が発生しています。
(CEMS画面)



抑制基準電力 ● 太陽光発電電力 ● 蓄電池充放電電力



ほとんど太陽光発電を抑制していない状態
【真冬:町民ホール使用時】

一括受電+CEMS制御+蓄電池による効果的なピークカット機能とその効果

- ✓ 集積されている**公共施設群（9施設7契約）**を自営線により1需要として受電契約を**一本化**
- ✓ CEMSによる蓄電池及びヒートポンプの稼働制御による**ピークカット機能**を構築
- ✓ 各施設で受電していた**当初の契約電力の合計値は759kW**であったが、**事業開始時には640kW（協議契約）、令和3年度には450kW（デマンド契約）**を下回り、更なる低減の可能性が期待され、それに伴った基本料金の削減も期待される。



施設名	事業開始前の 契約電力	事業開始時（R2年度末） の契約電力	R3年度中の 契約電力見直し後
鹿追町役場	33 kW	 640 kW (▼119 kW)	 450 kW (▼309 kW)
鹿追町国民健康保険病院	117 kW		
鹿追町民ホール＋神田日勝記念美術館 ＋鹿追町トリムセンター	220 kW		
鹿追小学校	40 kW		
鹿追町健康温水プール	89 kW		
交流センターみないる	20 kW		
認定こども園	100 kW		
エネルギー棟	140 kW		
合計	759 kW	 1,870円 × 309KW × 12ヵ月 = ▲6,933,960円	

本事業の採算性

- ✓ 事業としての成立性（採算面）は、総事業費763,519千円に対し、環境省補助金及び過疎債を除いた持ち出し額113,508千円に対して、年間のランニングコスト削減総額10,486千円により、約10.8年で投資回収できる見込み。

【収 入】

項 目	ランニング費（円／年）
太陽光発電による購入電力削減効果※1	14,723,885
一括受電による電力購入基本料金削減効果※2	6,933,960
A重油購入削減効果※3	4,693,593
合 計	26,351,438

【収 出】

維持管理費用※4	6,767,514
電気ヒートポンプの電力消費分※5	6,997,879
電気主任技術者の選任分（追加費用）※6	2,099,898
合 計	15,865,291

【収 入】－【支 出】＝10,486,147円

※1 電力購入削減効果：発電による電力購入削減効果＝令和4年度発電量539,007kWh×令和4年度実績単価

※2 一括受電による電力購入基本料金削減効果＝事業開始前契約電力759kW－契約容量450kW×基本料金単価1,870円/kW×12か月

※3 A重油購入削減効果：令和4年度削減実績 47,600L ×令和4年度実績単価

※4 維持管理費用：施工会社提案資料（概算維持管理費見積書）＋一部実績値より14年分の費用を1年分に按分（法定点検、保守、耐用年数に基づく交換・更新費用など）

※5 電気ヒートポンプの電力消費分：令和4年度消費量256,176kWh×令和4年度実績単価

※6 電気主任技術者の選任分（追加費用）：電気主任技術者雇用人件費3,855,294円-事業開始前外部委託費1,755,396円

自営線マイクログリッド事業費等の内訳

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	起債対象有無	補助対象有無
	決算	決算	決算(一部見込)	予算		
基本設計委託等	5,292,000	39,927,600			起債対象外	補助対象
外資付リ業務委託	162,000				起債対象外	補助対象外
実施設計委託		11,540,880			起債対象	補助対象
用地立木伐採委託		1,096,200				補助対象外
境界画定測量委託		972,000				補助対象外
測量及び試験委託					起債対象	補助対象
土地造成(8%)			19,612,800		起債対象	補助対象外
建物建設(8%)			42,876,000		起債対象	補助対象外
使用料及び賃借料(街路樹伐採)			530,280		起債対象外	補助対象外
整備工事(最新申請額ベース)			415,800,000	183,700,000	起債対象	補助対象
監理委託			27,500,000	11,000,000	起債対象	補助対象
事務費	99,380	1,154,272	1,180,984	1,074,177	起債対象外	補助対象
計	5,553,380	54,690,952	507,500,064	195,774,177	763,518,573	
財源内訳					計	
その他(雑入:環境省)	3,594,000	35,081,000	296,320,000	130,516,000	465,511,000	
地方債(過疎債)		3,600,000	199,700,000	61,600,000	264,900,000	
一般財源	1,959,380	16,009,952	11,480,064	3,658,177	33,107,573	
計	5,553,380	54,690,952	507,500,064	195,774,177	763,518,573	
				起債償還総額	268,004,622	
				交付税措置額	187,603,235	
				持出額	80,401,387	
				一般財源総額	113,508,960	
				割合	14.87%	

R4年度10月～新たな町民向け補助金を創設 ＜FCV中古車導入に対する補助は国内初＞

R4実績：51件実績 co2排出削減効果 10.6t（年間）

鹿追型ゼロカーボンシティ実現プロジェクト

省エネ家電買換え促進補助金

10年以上前の電気冷蔵庫から
エコな電気冷蔵庫に買い換えると
最大 **40,000 円** 補助金を交付します !!

* 補助金は条件に応じて 10,000 円からとなっております。
* 商品券 (1,000 円綴り) で交付します。

冷蔵庫は家庭で最も電力消費量が高く、
省エネ化することで、お財布にも地球にも
やさしい取組みになります。



詳細は裏面をご覧ください

R4実績：FCV2台、PHEV1台実績
co2排出削減効果 5.5t（年間）

鹿追型ゼロカーボンシティ実現プロジェクト

鹿追町脱炭素自動車 導入普及促進補助金

補助金を利用して
環境にやさしい車に乗り換えよう！

FCV

水素燃料電池自動車

新 車：最大 **100 万円**

* CEV 補助金の 1/2 以内

中古車：最大 **50 万円**

* 車両本体価格（税別）の 20% 以内



EV

電気自動車

新 車：最大 **100 万円**

* CEV 補助金の 1/2 以内

中古車：対象外



PHV

プラグイン
ハイブリッド自動車

新 車：最大 **100 万円**

* CEV 補助金の 1/2 以内

中古車：対象外



詳細は裏面をご覧ください

【令和5年4月_環境省重点対策加速化事業に選定】

「全町民・全事業者を対象とした電気と熱の最大活用による面的な脱炭素を推進」



家庭用太陽光発電
7万円/kw

事業者用太陽光発電
5万円/kw

※FIT,FIP売電不可



家庭用定置式蓄電池
1/3
【上限5万1千円/kwh】

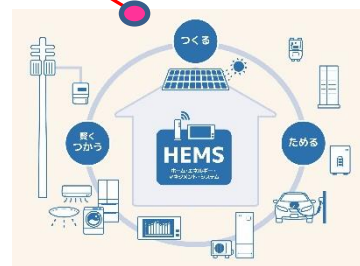
事業者用定置式蓄電池
1/3
【上限6万3千円/kwh】
【315万円】

※本補助金にて太陽光発電を導入する場合のみ、申請可能。



家庭用太陽熱システム
2/3

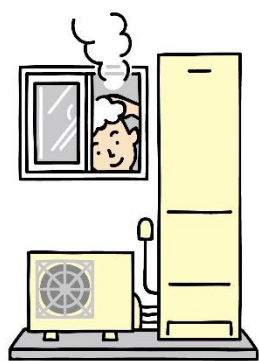
事業者は対象外



家庭用エネルギーマネジメントシステム
2/3

事業者用エネルギーマネジメントシステム
2/3

※本補助金にて太陽光発電を導入する場合のみ、申請可能。



家庭用高効率給湯器
1/2

事業者用高効率給湯器
1/2

※買換えのみ対象



既存住宅断熱改修
1/3
上限120万円

事業者は対象外

※高性能建材（ガラス・窓・断熱材・玄関ドア）

エコキュート、
エコジョーズ、
エコフィールなど

令和5年7月3日から受付を開始し、令和5年11月1日時点で、
「62,000千円（補助金ベース）」の交付申請を受付。【予算執行率:94%】
（太陽光発電+定置用蓄電池+エネルギーマネジメントシステムセットが多い）

さらに、

「鹿追町住まいのゼロカーボン化推進事業補助金」を創設（R5年11月1日～）



北方型住宅ZERO

ずっと快適に、ずっと幸せに。北方型住宅 ZERO がつなぐ未来の暮らし。

**ZERO CARBON
HOKKAIDO**

開口部のみの省エネ改修

躯体のみの省エネ改修

高断熱浴槽

節水型トイレ・節湯水栓

高性能エアコン・
高効率給湯器

LED（工事必須）

北海道の「住まいのゼロカーボン化推進事業」を財源（1/2）とし、あらゆるアプローチで、住まいのゼロカーボン化を推進しています。

SHIKAOI“Zero Carbon+”Project

“ライフスタイルの変容”に焦点を当てた新たなProject.

＜脱炭素 × 健康増進 × 経費削減＞

「Town Bike Project」



公用自転車16台を配備
R3_CO2排出削減実績：182kg

「歩く、こぐProject」

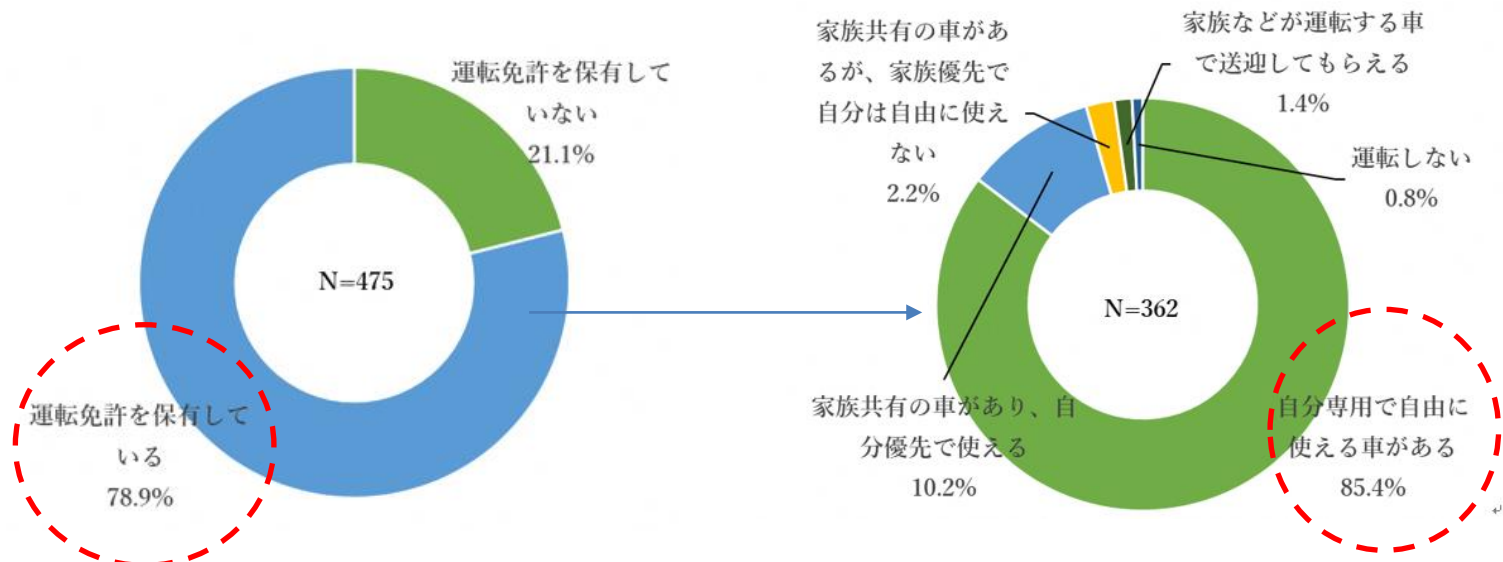
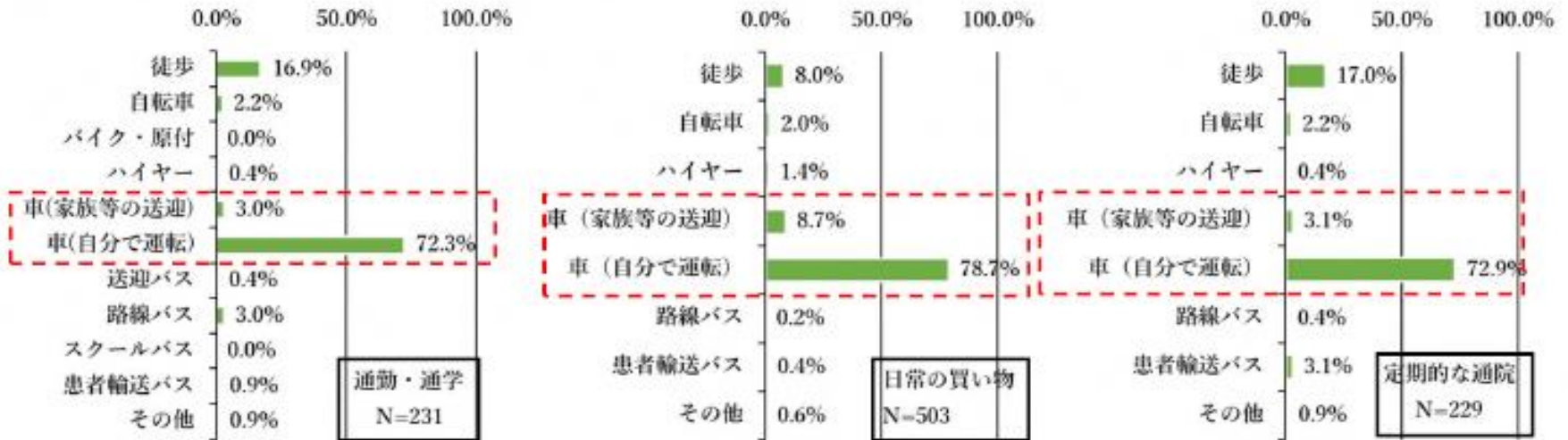


職員に徒歩・自転車通勤を推奨
R3_CO2排出削減実績：7,013kg

【7.2tのCO2排出削減を実現】

鹿追町民の移動手段の実態（全道的な町村の傾向？）

（2021.1鹿追町に在住する町民1,200人に対し、運転免許の保有状況、自動車・公共交通の利用状況、公共交通の必要性や要望等をアンケート形式にて実態調査を実施）



町民と共に学び、考え、行動する機会を創出

地域づくりセミナー

ZERO CARBON HOKKAIDO SHIKAOI

然別湖の環境と気候変動
9月10日(日)15:00から 鹿追町民ホール

将来、然別湖が結氷しなくなる時がやってくるかも知れません。
日本・世界各地の湖で研究を重ね、然別湖で観測をはじめた
2人の研究者に話を聞き、気候変動の問題を考えます



「ジオパーク」「北海道環境財団」と連携した
ゼロカーボンセミナー
Panasonic連携事業
「親子で省エネ講座」
エネルギーの“創・蓄・省”とものづくり教室
その他、行政区等に出前講座の実施中

全世帯に省エネハンドブックを配布 ＜北海道経済産業局との連携＞

町民の皆さま

鹿追町長 喜井 知己

「実践! おうちで省エネパンフレット」の配布について

年の瀬も押し迫り、何かと気ぜわしい頃となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

この度、経済産業省北海道経済産業局のご協力により、省エネを実践するための具体的な方法や節約効果をまとめた「実践! おうちで省エネパンフレット」を町民の皆さまにお配りさせていただくこととなりました。

本町は令和3年3月に「バイオガспラントを核とした鹿追型ゼロカーボンシティ」を宣言し、同4年4月には「第1回脱炭素先行地域」に選定され、精力的に脱炭素施策を進めているところです。

「省エネ」は脱炭素につながるのはもちろんですが、原油価格・物価高騰対策にもつながる「お財布に優しい」取り組みです。パンフレットを参考に、できることから実践していただき、省エネを生活の一部に取り入れてみてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、皆さまのさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

記

配布物：実践! おうちで省エネパンフレット 1冊

※ごみ分別ハンドブックと同様に、更新されるまで「保存・活用」いただければ幸いです。



自動車・省エネ		マナーを守ったドライブは、安心・安全・経済的	
● ふんわりアクセル（ふふふ） 燃費の約10%向上 燃費の約10%向上 燃費の約10%向上	● エコドライブ 燃費の約10%向上 燃費の約10%向上 燃費の約10%向上	● マナーを守れば省エネ運転! エコドライブは、すべてエコドライブ エコドライブは、すべてエコドライブ エコドライブは、すべてエコドライブ	● 燃費が高い自動車を利用しよう 燃費が高い自動車を利用しよう 燃費が高い自動車を利用しよう 燃費が高い自動車を利用しよう

2,200世帯すべてに
省エネ行動を具
体的に促進!!

脱炭素先行地域実現Project

多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化、
環境価値の向上による
地方創生モデル「MIRAI COUNTRY」の提唱

■瓜幕エリア;

Zero Carbon教育・交流拠点の創出

～自然体験×脱炭素教育、移住・定住・関係人口創出～

○新自然体験留学センター（NearlyZEB）

○エリアにある全コミュニティ施設（8施設）のRE100

<太陽光×太陽熱×メタンガスコジェネ×自営線×バイオ電力>

■役場周辺エリア;

ZEC（ゼロ・エネルギー・コミュニティ）の確立

～マイクログリッドを最大化する「ZEC」の提唱と確立～

○自営線ネットワーク内施設の“ZEC”化（10施設）

<水素燃料電池×太陽光×太陽熱×NearlyZEB改修×バイオ電力>

○公用車の脱炭素化

<RE100EV×FCEV(町内で22台導入済)×FCバス>

■然別湖エリア;

Zero Carbon Park化

～環境価値の向上による観光復興×自然保護・活用～

○既存ホテルの省Co2×RE100

<太陽光×温泉熱×断熱改修×バイオ電力>

○休業ホテルのZEB再建×RE100

<太陽光×温泉熱×断熱改修×バイオ電力>

○キャンプサイトでのFCEV活用

□エネルギー供給エリア;

ポテンシャルを踏まえた、
再エネ最大導入

<3基目バイオガスプラントの整備>

地域新電力会社を設立し、
バイオガスプラント（1～3）で発電した電力を
**鹿追町内の全需要家に供給を
目指す。**（前段として、323の全公共施設
に電力を供給）



ZERO CARBON
HOKKAIDO
SHIKAOI



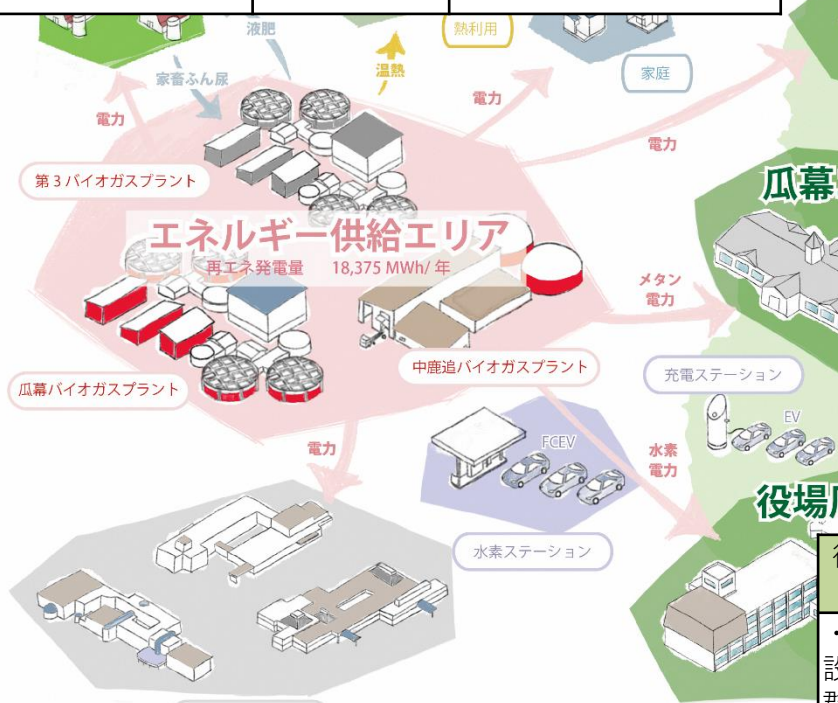
とかち鹿追ジオパーク

【地方創生＝課題解決】 脱炭素先行地域実現Project

エネルギー供給 エリアの課題	対象施設	事業内容
・バイオガスプラントFIT電力の活用 ・卒FITを見据えた新たな展開	① 3基目BGP ② 中鹿追BGP ③ 瓜幕BGP	・ 3基目バイオガスプラントの新設 (1,500kw) ・ 地域新電力会社の設立 ・ バイオメタン精製・圧縮設備導入

然別湖エリアの課題	対象施設	事業内容
・ 休業ホテルの再建 ・ 新型コロナウイルスからの観光復興	① 休業ホテル ② 既存ホテル ③ ネイチャーセンター ④ 北岸野営場	・ 休業ホテルのZEB化再建 ・ 既存ホテルの省エネ改修 ・ 温泉熱ヒートポンプの導入 ・ V2Hの導入 ・ ゼロカーボンパーク化

然別湖エリア



瓜幕エリアの課題	対象施設	事業内容
・ 自然体験留学センターの建替え (約築40年) ・ ワークション、テレワークに対応した新施設 ・ 卒FIT太陽光発電の利活用 (小学校にあり)	① 自然体験留学センター ② 瓜幕小学校 ③ 瓜幕保育所 ④ 夢創造館 ⑤ ウリマックホール ⑥ 道の駅うりまく ⑦ ライディングパーク ⑧ 瓜幕中学校	・ NearlyZEB (新設) ・ メタンコジェネの導入 ・ 太陽熱の導入 ・ 太陽光発電の導入 ・ 蓄電池の導入 ・ 自営線の導入 ・ V2Hの導入 (FCEVなど、脱炭素車両を活用)

役場周辺エリア

役場周辺エリアの課題	対象施設	事業内容
・ 平成初期に建設した公共施設群の長寿命化修繕 ・ 既存の太陽光発電が発電しない時間等の購入電力対策 ・ 道の駅の再編	① 役場 ② 町民ホール ③ 神田日勝記念美術館 ④ トムセンター ⑤ 温水プール ⑥ みないる ⑦ こども園 ⑧ 小学校 ⑨ 病院 ⑩ 新道の駅 (ゼロカーボンステーション)	・ NearlyZEB改修 (道総研_研究事業) ・ 水素燃料電池の導入 ・ 太陽熱の導入 ・ 太陽光発電の導入 ・ 蓄電池の導入 ・ EVステーション設置 (役場・道の駅) ・ 脱炭素車両の導入 (EV, PHEV, FCバス) ・ CEMSの改修 ・ 冷暖房機器の電化 (EHP) 23

その他の公共施設群 エリアの課題	対象施設	事業内容
・ 使用している電力に環境価値がない	全公共施設 (323施設)	設立する地域新電力会社から、本町のバイオガスプラントで発電された電力を購入

特長 地域特性を生かした多様なエネルギー,レジリエンス強化

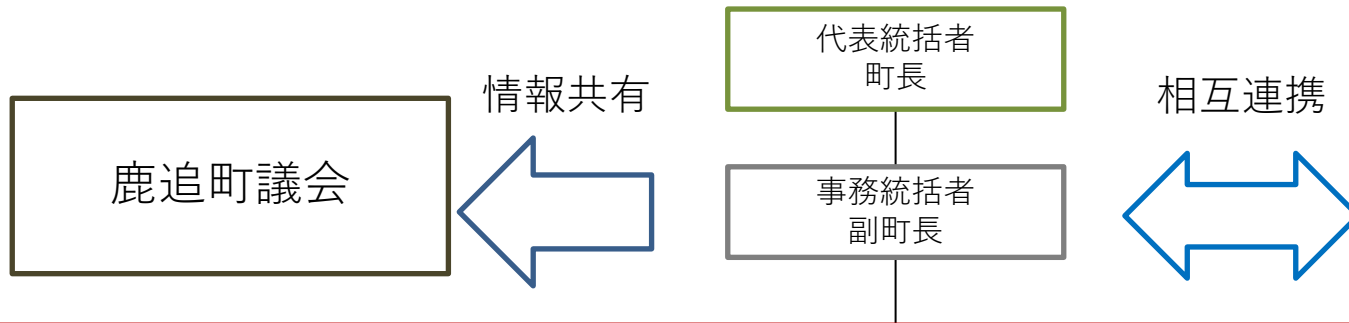
地域特性	資源	電気利用	熱利用 (北海道課題)	車利用 (北海道課題)
「農業王国十勝」 酪農が盛ん	家畜糞尿 生ごみ・ 下水道汚泥	バイオガス発電 コジェネ		バイオガス（CNG）自動車（導入済）
		水素燃料電池		水素自動車（導入済）・ 水素バス・水素トラック
		メタンガス コジェネ		—
「十勝晴れ」 雪が少なく、 年間通して気温が低い	太陽光	太陽光 発電	太陽熱 集熱パネル	電気自動車 (導入済) ※自営線NW余剰電力活用※
				プラグインハイブリッド自動車 (導入済) ※自営線NW余剰電力活用※
冬季の厳しい寒さ	地中熱 (安定熱源)	—	地中熱ヒートポンプ (こども園+自営線NW)	—
温泉地	源泉	—	温泉熱 ヒートポンプ	—
その他、 これまでの知見	自営線ネットワーク ※電気ヒートポンプとの連携による熱利用			—

・豪雪地帯は、住まいのZC化推進事業を柱に、徹底的に「省エネ+断熱」を追求するのもアリかも...

脱炭素先行地域PT

鹿追町ゼロカーボンシティ推進協議会

【鹿追町・JA・商工会・観光協会・一般町民・北海道拓殖バス株式会社・一般社団法人帯広青年会議所・北海道電力ネットワーク株式会社・鹿島建設株式会社・環境省北海道地方環境事務所・十勝総合振興局保健環境部・帯広信用金庫・国土交通省帯広開発建設部・北海道大学】



統括事務局
企画課長（補助事業事務関係）・建設水道課長（工事関係）・総務課財政担当課長（予算・計画関係）
（庶務：企画課企画係ICT・エネルギー担当）

ZEC化事務局
社会教育課長

新電力会社設立事務局
企画課長

第3BGP新設事務局
農業振興課環境保全センター
担当課長

ゼロカーボンパーク事務局
商工観光課長

留学センター新設事務局
瓜幕支所長

ゼロカーボン交通事務局
企画課長

- ・社会教育課（町民ホール・神田日勝・プール）
- ・保健福祉課（トリムセンター）
- ・学校教育課（小学校）
- ・商工観光課（道の駅）
- ・総務課財政担当課（計画）
- ・総務課
- ・消防署
- ・病院
- ・子育て支援課
- ・建設水道課

- ・農業振興課環境保全センター担当課
- ・総務課財政担当課

- ・農業振興課
- ・農業委員会
- ・総務課財政担当課

- ・ジオパーク推進課

- ・学校教育課
- ・企画課
- ・子育て支援課

- ・建設水道課
- ・総務課財政担当課
- ・町民課

連携企業：・鹿島建設株式会社（地域スマートソサエティ連携協定を締結）
・株式会社VOREAS
（脱炭素を核とした地方創生の実現に関する連携協定を締結）

<全課により推進>

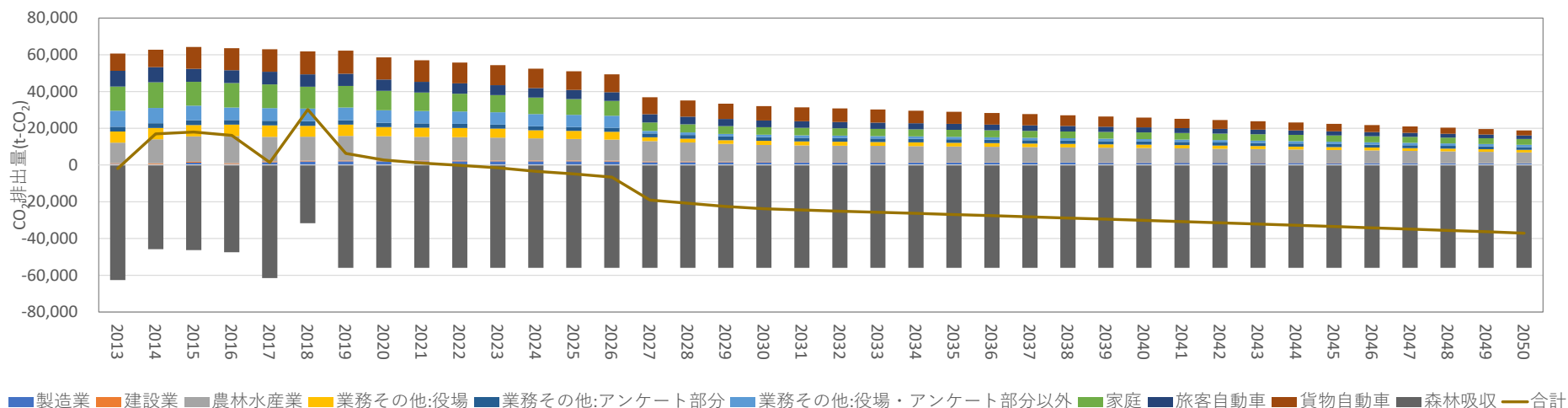
鹿追町は、カーボンニュートラルの先、 [カーボンマイナス] を追求する。



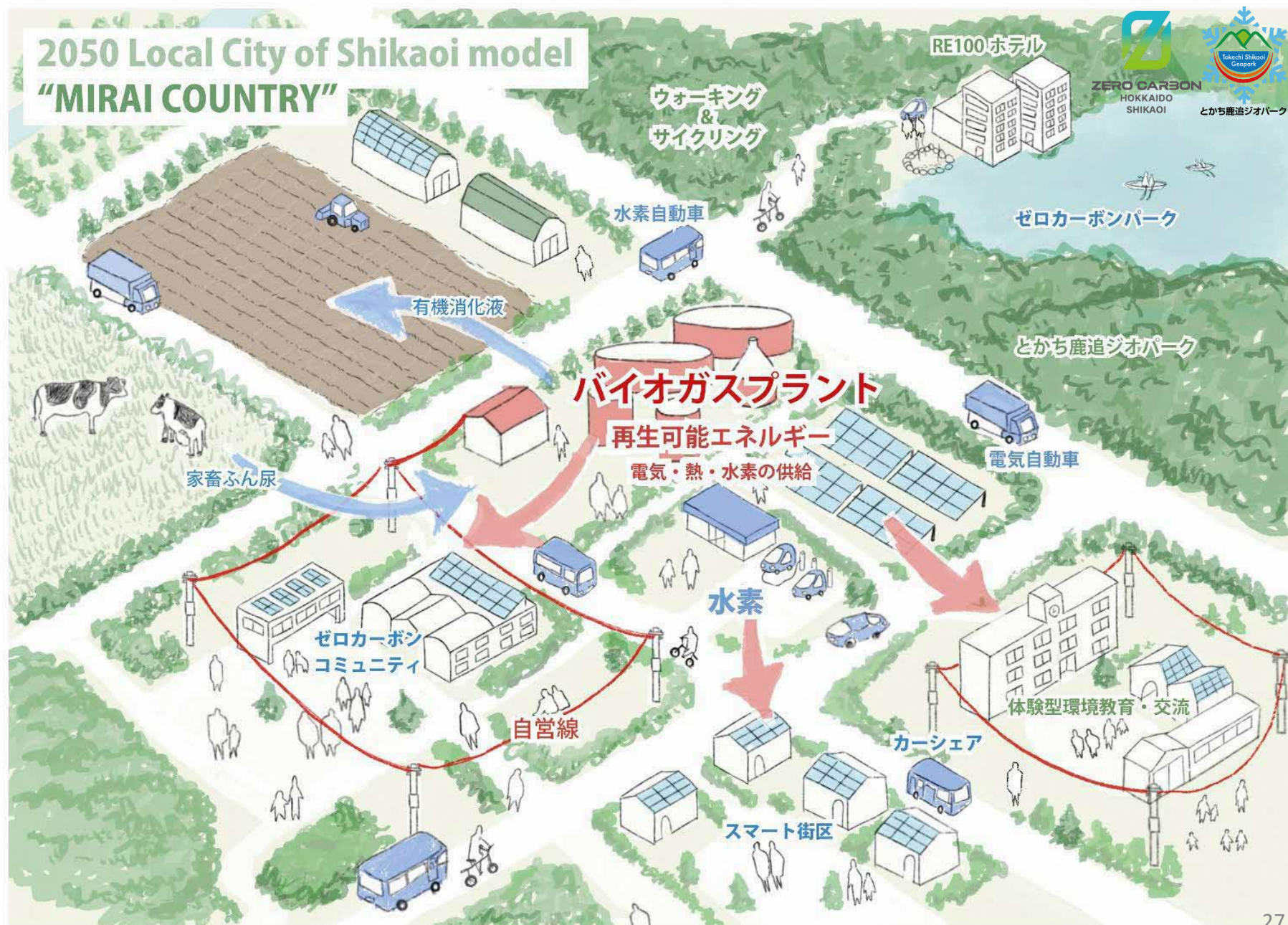
表1 鹿追町のCO2排出目標

												計	森林吸収	計
	産業部門			業務部門			家庭部門	運輸部門						
	製造業	建設業	農林水産業	役場	事業者アンケート部分	役場・事業者アンケート部分以外		旅客自動車	貨物自動車					
2019年	2,020	446	13,391	6,120	2,458	6,848	11,754	6,657	12,545	62,239	-55,927	6,312		
2030年	1,500	307	9,153	2,208	2,025	1,346	4,084	3,662	7,806	32,092	-55,927	-23,835		
	-26%	-31%	-32%	-64%	-18%	-80%	-65%	-45%	-38%	-48%	0%	-138%		
2050年	861	67	5,968	1,369	1,503	1,264	3,135	1,899	2,782	18,848	-55,927	-37,079		
	-57%	-85%	-55%	-78%	-39%	-82%	-73%	-71%	-78%	-70%	0%	-160%		

図1 鹿追町のCO2排出量の将来推計



2050年までに目指す鹿追型ゼロカーボンシティの姿【MIRAI COUNTRY】





SHIKAOI

・ご要望頂ければ、脱炭素先行地域や重点対策加速化事業の提案書の元データやヒアリングの議事録など共有可能です。

また、町民向け補助金の要綱や様式、行動変容に係わる効果想定用のエクセルデータ、予算要求書など、何でも共有できますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

鹿追町役場企画課 林

TEL : 0156-66-4032

MAIL : kikaku@town.shikaoi.lg.jp

